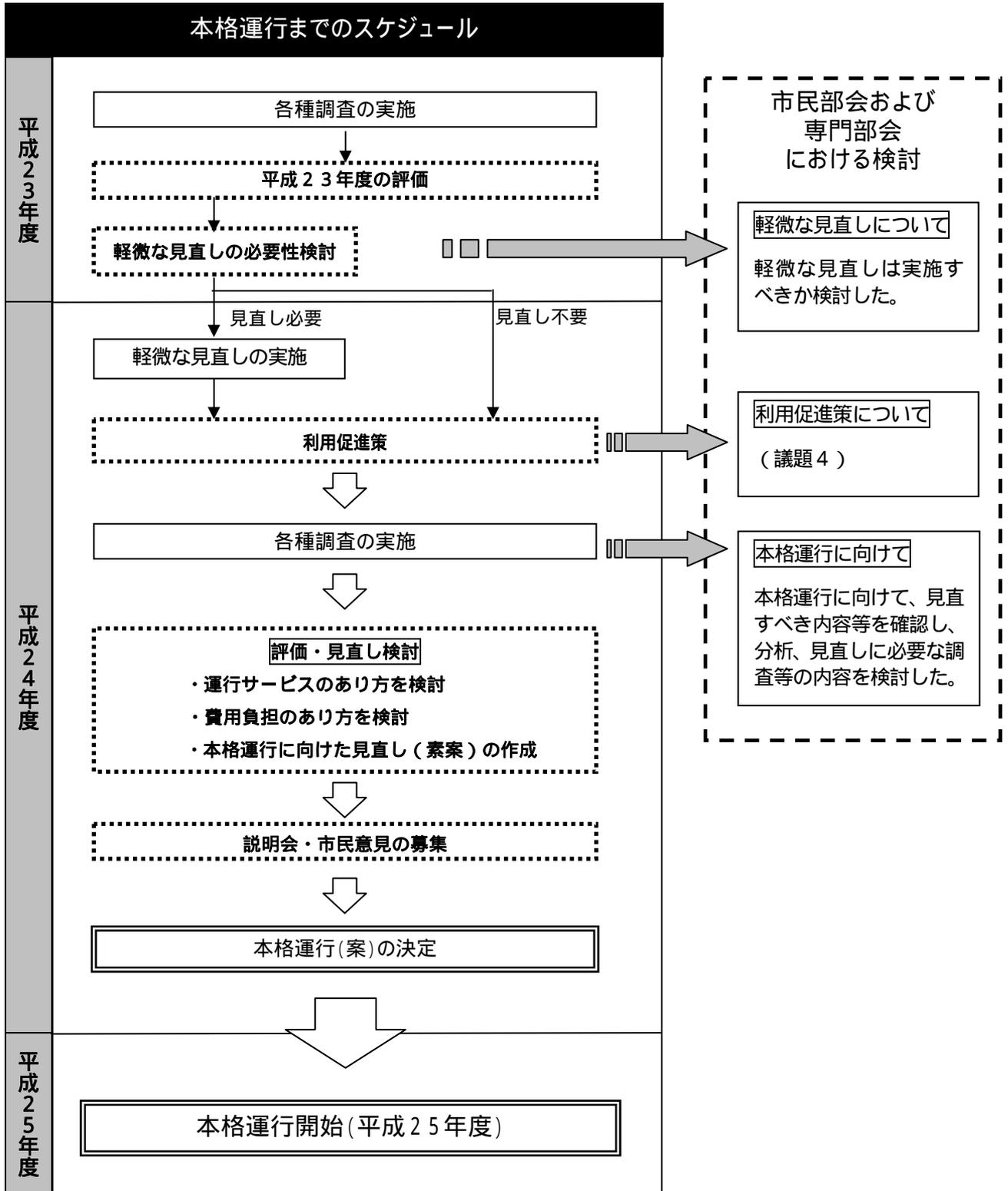


### 議題(3) 今後の見直しについて

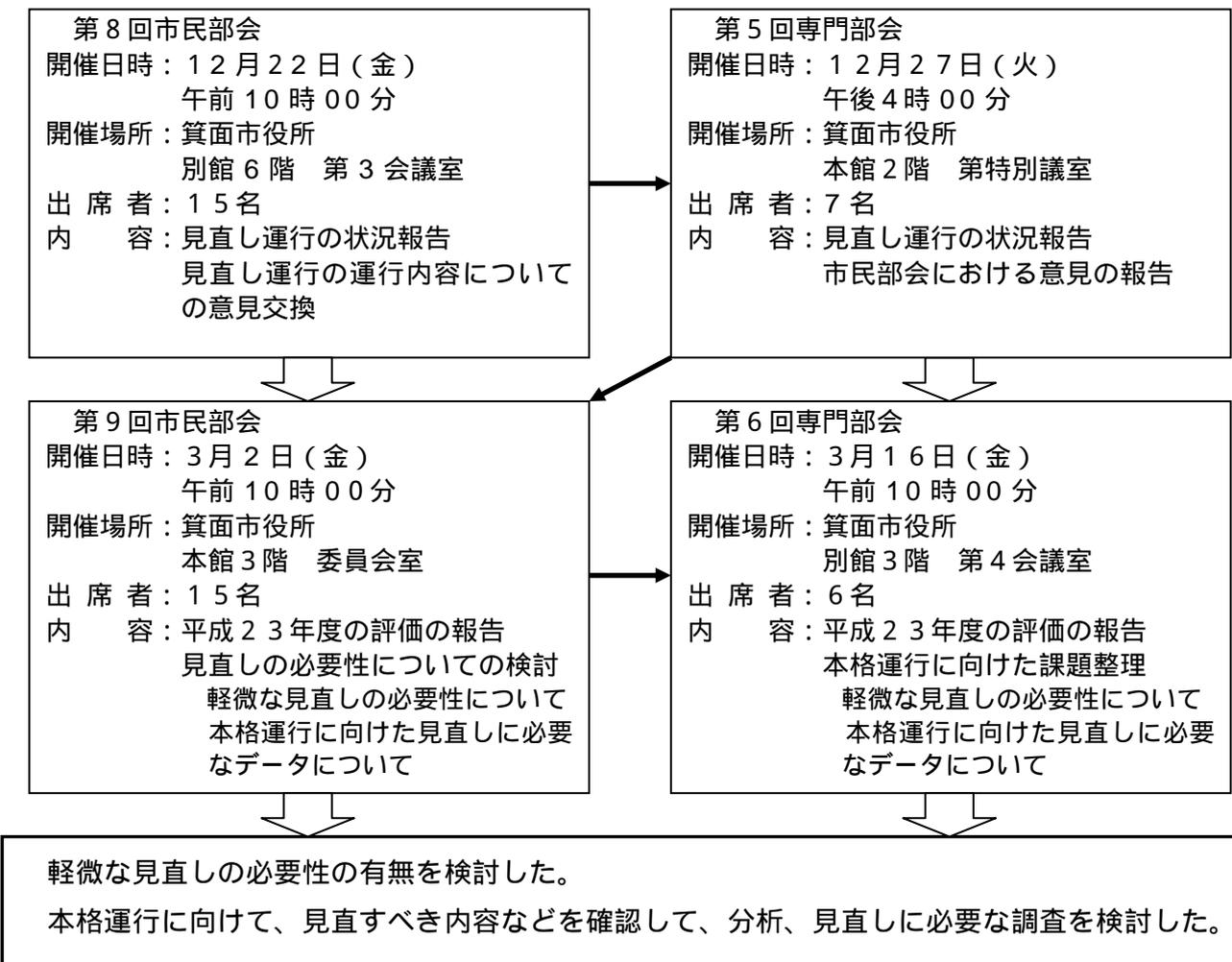
#### 1. 本格運行に向けた流れ

本格運行までのスケジュールと、抜本的見直し後の運行に対する市民部会および専門部会の検討内容を示す。



## 2. 分科会の検討結果

### (1) 分科会の開催概要



### (2) 検討結果

**軽微な見直しについて**

- ・運行内容がすぐ変わることによる利用者の混乱発生が懸念されることや見直しには経費がかかることから、早急に解決すべき問題が発生している場合のみ実施すべきである。
- ・抜本の見直し後の運行は、当初運行と異なり、恒常的な遅延運行も発生していないことから、早急に解決すべき問題はなく、軽微な見直しは実施しない。

**本格運行に向けて**

- ・運行内容の定着化を図ったうえで、市民の交通行動の変化を踏まえた評価を行い、本格運行に向けた効率的、効果的な運行内容の見直しを検討することから、利用実態を引き続き把握するため、OD調査、バス利用者アンケート調査、市民アンケート調査など各種調査を実施する。

### 3. 本格運行に向けた見直しの考え方（案）について

平成25年度の本格運行に向けた見直しの考え方（案）は次の通りである。

#### （1）軽微な見直しについて

分科会での結果も踏まえて、必要性はないと判断できるため、軽微な見直しは実施しない。

#### （2）本格運行に向けた見直しの進め方

抜本の見直し運行（平成23年9月）の1年後に見直しするとなれば、現在の運行実績や昨年12月に実施した各種調査をもとに検討する必要がある。

しかし、昨年12月以降から利用者が増加していることから、運行実績や利用者の交通行動を分析するには、引き続き見直すべき内容を整理して、その改善策および必要なデータ、収集方法について整理・分析を行う必要がある。

本格運行に向けては、平成24年度中に、各種調査の実施、分析や市民意見などの市民意向を踏まえつつ、利便性の追求だけでなく効率性等の運行サービスのあり方を検討する。

併せて、運行の財源について、本格運行時に持続可能なバスとするため、利用者負担と行政負担のバランスを整理し、評価・見直しのなかで費用負担のあり方を検討する。